

漢字の覚え方いろいろ

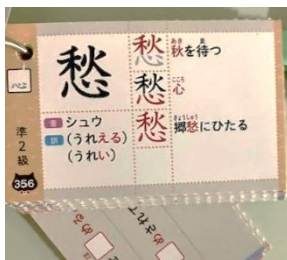
11月14日、15日は定期テストでした。皆さんどうでしたか。テスト勉強は順調でしたか？

4月の全校集会で生徒たちに説明をしましたが、みんなそれぞれ得意なことがあり、覚えやすい漢字の学習方法も一人ひとり違います。①何度も書いて覚えるのが得意な人、②語呂合わせにすると覚えやすい人、③へんにつくり等、パーツに分けて覚えるのが得意な人…など様々です。自分に合った学習をすることで、効率よく習得することができます。

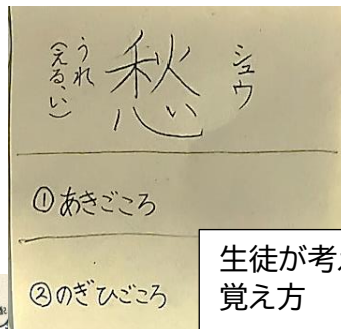
テストの2週間くらい前から、みのり教室前の廊下に漢字カードを置きました。このカードは唱えることで覚えられるカードです。語呂合わせで声を出して覚えるのが得意な人には合っている学習方法になります。

今回のテスト範囲のカードをみのり教室前に置いて、どんな覚え方をしているかを紙に書いてもらいました。「郷愁」の「愁」の漢字は、「①何度も書くと覚えやすい」と書いた人がいました。「②あき（秋） ごころ（心）」の「のぎ（のぎへん） ひ（火） こころ（心）」と唱えて覚えると書いた人もいました。「褒める」の漢字は、「③ころも（衣）の間に、ほ（保）の字が挟まっている」と考えた人もいました。工夫して覚えることで、短い時間で効率よく覚えることができそうです。

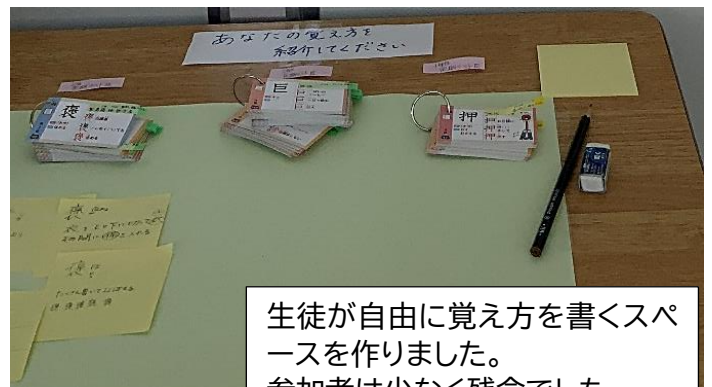
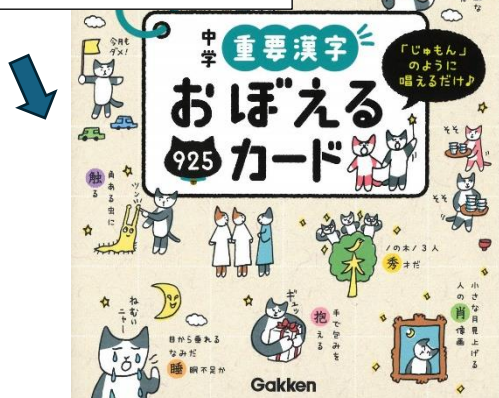
自分に合った覚え方を見つけて、楽しく学習してみましょう。



このようなカードがたくさん入っています



生徒が考えた覚え方



生徒が自由に覚え方を書くスペースを作りました。
参加者は少なく残念でした…

